

「地域課題」について

北部東地域包括支援センターの取り組み

令和3年2月5日

「地域課題」について 北部東地域包括支援センターの取り組み

(目次)

- ✓ 認知症高齢者への取り組み
- ✓ 地域課題に対する関係機関との連携
- ✓ コロナ禍による新たな課題
- ✓ 誰も取りこぼさない地域づくり

チームの取り組み 課題分析

経験年数に関わらず
職員全員で意見を出
し合い、共有・整理
を行った。



北部東包括職員

北部東圏域

長島

通いの場が充実
公共交通機関を使わない人が多い（不足している）
南海トラフ地震では全域浸水
福祉が身近な存在
喫茶店文化、お風呂文化
北部・中部・伊曽島で異なる地域性
まちづくり協議会設立準備委員会の開催

深谷

市内高齢化率 1 位（38.2%）
運動・口腔・物忘れリスク市内1位 ※1
公共交通機関を使う人が多い
喫茶店文化、お風呂文化
地域のつながりが強い
社協・包括との連携が密（月1回深谷連絡調整会議）
住民主体の「ささえあいの会」の立ち上げ

大和

防災活動が盛ん
農業に携わる人が多い
うつリスク市内4位・物忘れリスク市内5位 ※1
社会的役割低下者が市内4位 ※1
介護事業所や商店、コンビニなどが満遍なくある
包括へのアクセスの悪さ

※1...令和元年度桑名市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「いきいきくわな」より



認知症高齢者への取り組み

個別事例から地域づくりへ

圏域の認知症の課題（データ分析）

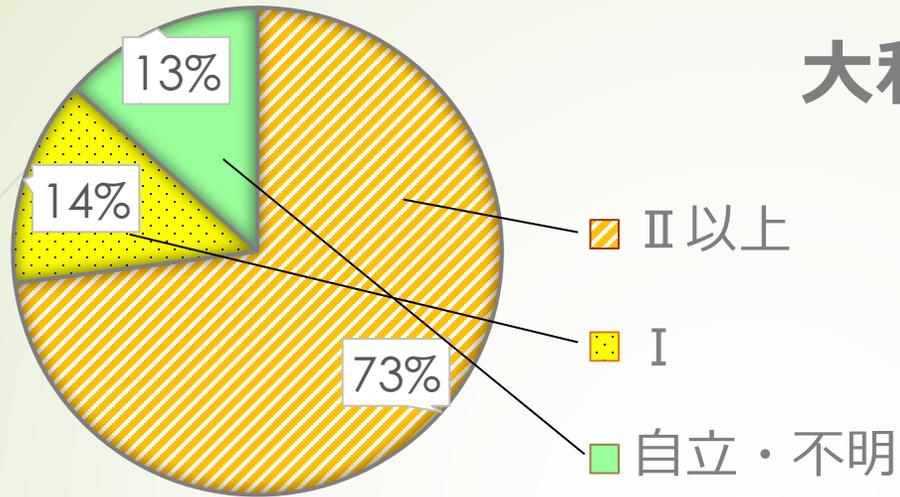
- ➡ 深谷地区は市内高齢化率 **1位 38.2%** (R2.9) ※2
長島北部 36.1%、長島中部 28.8%、長島伊曾島 28.5%
大和 32.2%
- ➡ 深谷地区 **運動・口腔・物忘れリスク市内1位** ※1
- ➡ 大和地区 **うつリスク市内4位、物忘れリスク市内5位** ※1
- ➡ 認知症高齢者の増加、独居・高齢者夫婦の増加

【分析結果】

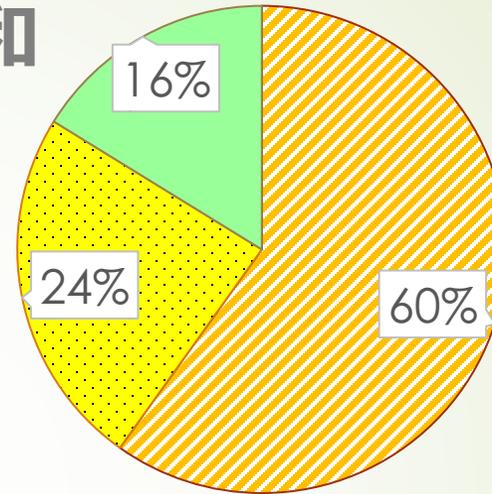
認知症施策に より力を入れていく必要性がみえてきた

介護認定者の認知症高齢者の日常生活自立度 地区別

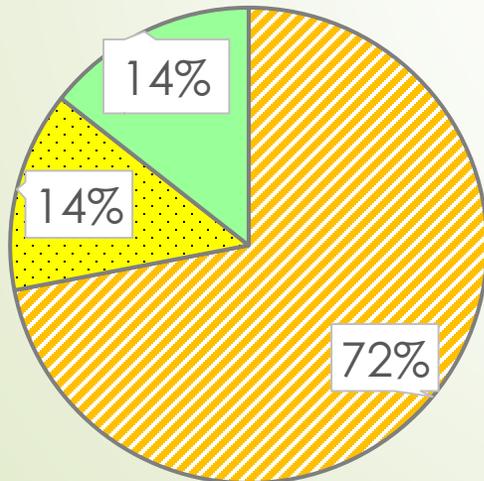
深谷



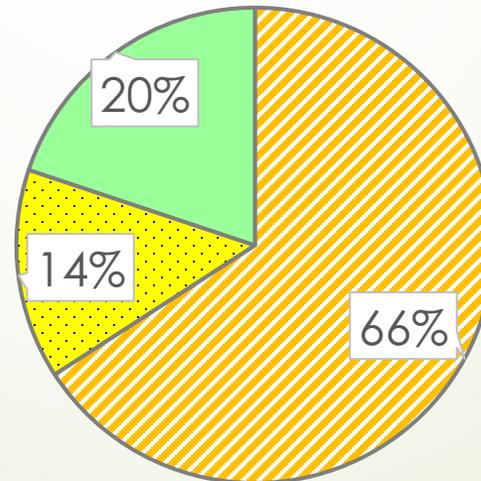
大和



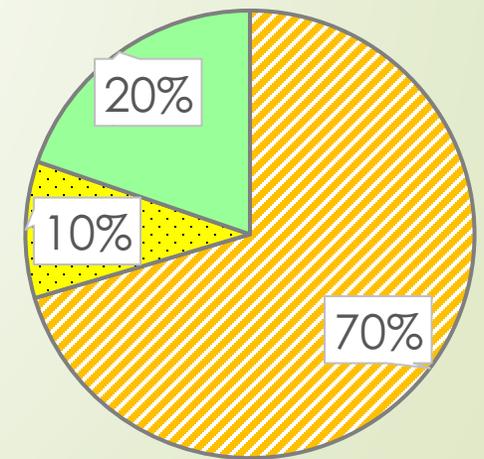
長島北部



長島中部



長島伊弉島

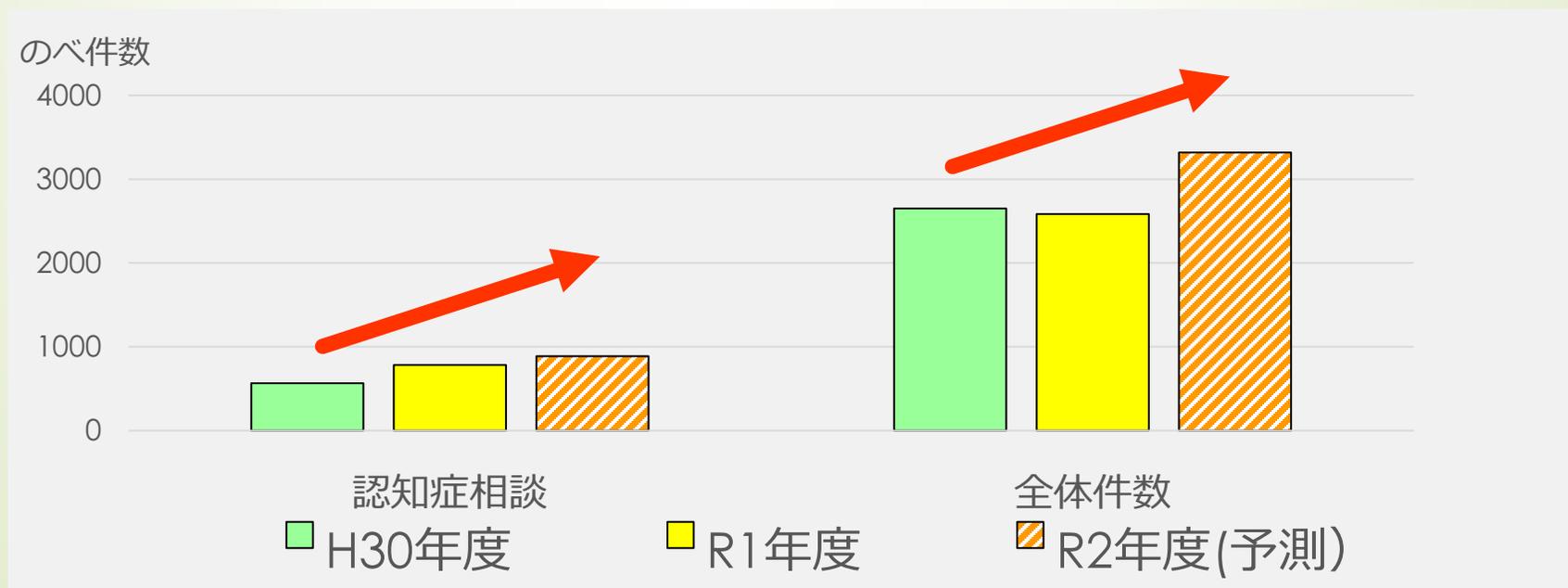


Ⅱ：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる

認知症の独居、高齢者世帯の支援の困難さ

- ➡ 独居や家族の関わりが少ない方の支援には、多くの時間と労力が必要。キーパーソンがいない。認知症のため、正確な状況がわからず、変化が見えにくい。コロナ禍で、家族の訪問が減っている。

➡ 相談件数（認知症相談）の増加



- 家族が遠方の方の支援には、家族が変化に気づきにくいなどの理由から介入が遅れがち

→ 「緊急連絡先をわかる場所へ記載してもらおうこと」 から周知

北部東包括だより 第11号

こんにちは！桑名市北部東包括支援センターです。
 地域包括支援センターとは、地域住民(主に65歳以上の高齢者)の区域・界域の総合相談窓口です。
 専門職として介護支援専門員・保健師または経験のある看護師・社会福祉士が連携して、地域の皆様の介護・医療・医療・福祉など様々な相談に応じます。お気軽にご相談ください。

離れて暮らすご親族様へ

地域包括支援センターでは離れて暮らすご親族の方にご連絡をさせて頂くことがあります。
 新型コロナウイルスが流行する中帰省を控えていらっしゃる方も多数おられます。

まずは… **緊急連絡先をみんながわかる場所に準備しましょう。**

何かあったときに、近所の方、友人、知人など他の人がご親族と至急連絡がとれるようにしておきましょう。

固定電話の近くに家族の連絡先のメモを貼っておく。
 近所の方、友人、知人に緊急連絡先を伝えておく。
 かかりつけ病院や地域包括支援センターに緊急連絡先を伝えておく

暮らしに困っていること、不安なこと、心配なこと、何ですか？
 早期に対応することで、慣れ親しんだ環境で生活を継続することができます。
 まずは、ご相談をお願いします。

若年性認知症ってご存じですか？

若年性認知症とは？
 認知症は加齢とともに発症しやすくなりますが、年齢が若くても発症することがあります。64歳以下で発症した場合を『若年性認知症』と言います。
 若年性認知症の方は全国で約37,800人(18歳以上64歳まで)と推計され、アルツハイマー型認知症が多い高齢者と異なり、血管性認知症が最も多いとされています。
 また、高齢者の認知症は女性のほうが多いですが、64歳以下では男性のほうが多いと言われています。

同じ顔を無意識に繰り返す。
 知っている人の名前が思い出せない。
 物のしまい場所を忘れる。
 通字を忘れる。
 今しようとしていることを忘れる。

理由もないのに気がふさぐ。
 身だしなみに無関心である。
 外出がおっくうがる。
 物(財布など)が見当たらないことを他人のせいにする。

一人で悩まず、
 気になることがあれば
 ご相談ください。

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

世界アルツハイマーデー
 9月21日は世界アルツハイマーデーで輪中図書館で展示会を行いました。

認知症サポーター養成講座
認知症サポーターになろう！
 認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、できる範囲で手助けをする人のことです。小人数の集まりでも開催できます！！

2020年12月8日(火)
 18:30~20:00
 会場: 深谷市民館 (桑名市大字下深谷部5074-2)

講座終了の証として
 オレンジリングをお渡しします。

伊藤 小澤 内山 戸谷 市川

包括だより
作成

本人への親族の連絡先聞き取りのきっかけや、
 年末年始など、帰省する家族に向けて周知できた

地域とともに考え、支えていく

2025年を目標に全市町村で認知症サポーターを中心とした支援チーム（チームオレンジ等）の整備を目指している

➤ **すでに身近な住民同士で支え合っている**

Nさん 認知症の診断あり 要介護1 J2/Ⅱα

これまで介護施設でボランティア活動をしていた
地域の人とも交流が多い。

家族から「介護サービスは本人のプライドが傷つくのでは」
集まっているメンバーや、ボランティア仲間が
さりげなく本人を支えている



**本人のしたいこと・生活を支えている
それってチームオレンジ！**

地域とともに考え、支えていく

地域の支援者に声をかけ

地域ケア会議や

認知症サポーター養成講座の開催へ

生活支援
コーディネーター

家族

民生委員

自治会



ご近所

本人

話し相手や、外で見かけるとさりげなく声をかけてたり、自宅まで付き添って送ってくれるなど、本人の日常生活をさりげなく支えてくれています。

認知症とともに暮らせる まちづくり

- 本人らしい地域での生活には、地域の理解やお互い様の支え合いが不可欠

効果

- ・ 本人の思いと地域を繋ぎ、**見える化**することで、住民一人ひとりの負担感を軽減。
- ・ ご近所の皆さんも「できることはお手伝いするよ」と前向きな気持ちの人が多。
- ➡ 地域の良いところを引き出すことで、**とともに暮らせる豊かな地域づくり**の一步となった。



- 認知症サポーター養成講座5回、キッズサポーター養成講座圏域すべての小学校（5か所）で開催

効果

コロナ禍でできるのかな？という思いが私たちにあった。毎年の実施を積み重ねる中、「**来てもらうのを待っていた**」という声が多く、**地域の意識の高さ**を実感。万全の感染対策をしながら実施できた！

不安を**安心**に！ 参加者から**担い手**へ

➡ 認知症介護への不安解消、担い手の発掘へ

大府市認知症徘徊鉄道事故裁判、当事者高井様の講演「認知症講演会」開催
その後、講演会に参加した人に認知症サポーター養成講座を開催。

講座後、**認知症カフェのスタッフ**になりました！

世界アルツハイマーデーに合わせて、
令和2年9月26日に開催。
定員いっぱいの50名の参加！

(参加者の感想) 認知症の大変さ、難しさ、
人との繋がり大切さを学びました。
声かけできる人になりたいと思います。



(担い手の方の感想)
自分にできることがあ
れば、これからも協力
します！

地域課題に対する 関係機関との連携

- 小島地区通いの場立ち上げについて
- 長島事業所連絡会議の開催
- まちづくり協議会設立準備委員会参加の効果
- 地域特性に応じた防災の取り組み

地域課題に対する関係機関との協同

- ▶ 長島地区においては通いの場が充実
それでも、まめじゃ会がない地域があったり、次の担い手不足も課題。
- ▶ 生活支援コーディネーター、保健医療課、民生委員などとフィールドワークで地域を
実際に歩き、地域の強みや課題を把握。
- ▶ また、長島は津波でも洪水でも全域浸水の危険地域。台風などの時には避難バスが出るが、そこまで歩ける体力が必要！

まずは長島北部

「小島地区の通いの場」

結成に向けて動き出す！！



フィールドワークの様子

小島地区に、通いの場立ち上げにむけて！

小島のみなさまへ！
ぜひお伝えしたい！！
1日でも長く健康でいられる秘訣！

開催日：令和 2年 12月 3日(木)
午前 10時 ~ 11時

開催場所：小島集会所

対象者：小島の方なら どなたでも！

内容：①小島地区とは これからの小島を知ろう！
②健康で元気の秘訣！
③効果的な運動を教えます！

持ち物：水分、タオル
動きやすい服装でください！

【お問い合わせ先】
桑名市社会福祉協議会 長島支所 TEL 0594-42-2110
桑名市保健医療課 TEL 0594-24-1182
桑名市北部東地域包括支援センター TEL 0594-42-2119

👉 ニーズ調査※1から「参加したい人」や「担い手」をピックアップし個別に訪問！

👉 チラシを124世帯全戸配布
→初回は、住民の方、自治会長さんなど
15名程の参加がありました！



生活支援コーディネーターや保健医療課との協同で開催

長島北部の高齢化率は36.1%
しかし通いの場が少ない・・・
運動できる場所を作りませんか？

小島地区に、通いの場立ち上がりました！

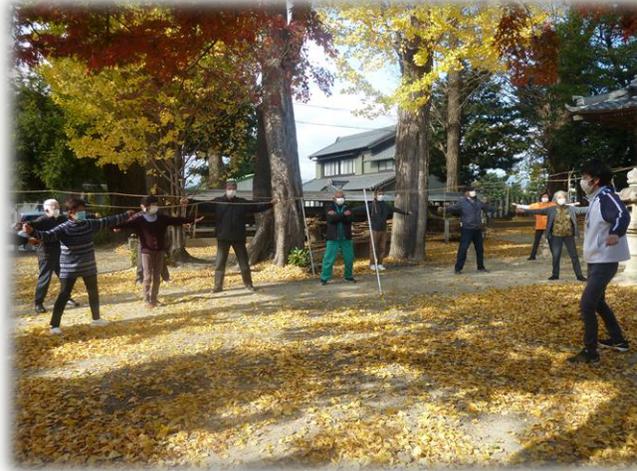
～結果～

生活支援コーディネーター、
保健医療課と協同し
住民主体で
毎週開催しています！

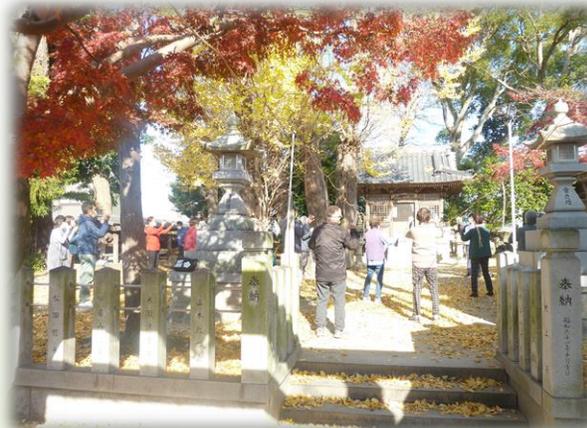
今度は私たちがアドバイザーで
活動していけたらいいな



1回目



2回目、3回目・・・



他地区のいきいき体操会
の方にアドバイザーで来
てもらい、住民主体で
継続できるノウハウを得
てもらっています。

「長島事業所連携会議」を結成！

ケアマネジャーとの交流会、運営推進会議などはあるが、介護事業所同士が顔を合わせたり、話し合う場はあまりない

お互いの困りごとや取り組みを共有することで、事業所の課題も解消でき、地域にもよい還元ができるのではないか！

- ▶ 長島地区内の介護事業所、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターで **毎月1回** 集まり、情報共有や地域課題への取り組みを検討中

例：コロナ禍でも健康ケア教室を続けられる方法は？
→ゴルフ場と連携して、不整地を歩けばリハビリにもなるし
ソーシャルディスタンスにもなるね！！
など、いろいろなアイデアがでています。



まちづくり協議会設立準備委員会へ 参加することの効果

- ▶ まちづくり協議会とは・・・地域住民による地域づくり組織
- ▶ 包括が毎回参加することで、地域のニーズの把握や協同ができる場

現在、長島3地区は月1回開催。大和地区はR2年10月に第1回目の会議開催。

- カギ預かり事業
- いきいき体操の波及
- 小島に通いの場ができたことで
他地区の意欲向上に！
- 敬老まつりの開催（感染対策をしながら）
- 朝市を拡大していこう！
- いそじまサロンの開催

住民の熱気がすごい！
包括の気づきの場でもあり、
新たなアイデアが
生まれる場でもある

地域特性に応じた防災の取り組み

- ▶ 特に長島地区は南海トラフ地震では全域津波で浸水の恐れ
深谷・大和地区についても浸水危険域あり
- ▶ 民生委員児童委員定例会にて防災講座実施、包括も参加
- ▶ 民生委員さんも同様に、悩んでいた。「自治会との連携をどうしたらいいのか」
「避難行動要支援者名簿を預かって、災害時どう活かしたらいいのか」など



市の防災計画や法人の防災計画はあっても、
災害時の要援護者に対する個別の避難計画はない

まずは介護サービスを利用している人の避難行動について
考えよう！ケアマネジャーにも民生委員さんと同様の
不安があるのではないかな？

**ケアマネジャー、介護保険事業所対象に
災害時の対応について話し合う機会を持つことに！**

津波ハザードマップより

洪水ハザードマップより



広範囲
浸水の
恐れ！

※浸水想定は「平成25年度三重県地震被害想定調査結果」のうち理論上最大クラスの南海トラフを想定した津波浸水予測図を参照しております。



地域特性に応じた防災の取り組み

最近の深刻な災害の発生状況		
区分	災害	備考
1991(H 3)	雲仙普賢岳噴火災害	
1995(H 7)	阪神・淡路大震災	自主防災・ボランティア
2000(H12)	三宅島噴火災害	全島避難
2004(H16)	中越地震	中山間地
	スマトラ島沖地震	津波高34m
2005(H17)	ハリケーン・カトリナ	902hPa 78m/s
2007(H19)	中越沖地震	原子力発電所
2011(H23)	東日本大震災	原子力発電所・津波
2013(H25)	台風第30号フィリピン	895hPa 88m/s~
2014(H26)	広島土砂災害	8月豪雨
	御嶽山噴火	
2014(H26)	長野県神城断層地震	地域協力



アンケート 結果・効果

- ・事業所や法人で、防災について話し合うきっかけとなった！
 - ・防災・危機管理課にもっと質問したい。避難行動について具体的なアドバイスが欲しい！
- 防災・危機管理課との橋渡しをしました。今後も引き続き行っていきます。

新しい生活様式に合わせて、WEB会議にて開催！
(R3.1.14開催)



コロナ禍による新たな課題

～新しい生活様式に合わせて～

コロナ禍の対応について

コロナ禍で、今できることは？

外出自粛の中で、フレイル（虚弱になること）が心配。

- フレイルの危険性をどうやって住民に伝えたいだろうか？
- 自宅でも気軽に取り組んでもらえる体操ってなんだろうか？



北部東圏域会議で検討

- 毎月住民向けのチラシを発行しよう！
- ラジオ体操やテレビ体操が取り組みやすいのでは！？
- 世の中の情勢に合わせた情報提供を！

通いの場が休止になることで交流の場所がなくなったり、閉じこもりになってしまう

- 生活支援コーディネーターと連携し、通いの場の開催状況を確認したり、代表者のところへチラシを配布

テレビやラジオなど身近な媒体を利用しての 体操は好評でした♪

毎月発行！

桑名市北部東地域包括支援センター圏域 健康瓦版 令和2年9月号

コロナ禍の今…新しい生活様式とともに
**「新しい『健康』様式」
はじめませんか**

時間	内容	媒体	チャンネル	日時
6:25	テレビ体操	テレビ	NHK教育	毎日
6:30	ラジオ体操	ラジオ	NHK第1	毎日
8:40	ラジオ体操	ラジオ	NHK第2	月～土
9:55	みんなの体操	テレビ	NHK総合	月～金
12:00	ラジオ体操	ラジオ	HHK第2	月～土
13:55	テレビ体操	テレビ	NHK総合	月～金
15:00	ラジオ体操	ラジオ	NHK第2	月～土
16:00	水戸黄門	テレビ	テレビ愛知(10)	月～金

テレビとラジオがあれば、何回でも体操ができるのじゃ!!

物足りない方には…「桑名いきいき体操!!」
詳しくはこちらまで!
桑名市役所保健医療課
電話 24-1182

筋肉は裏切らない!! 週1回で現状維持、週2回で筋力アップ!

新型コロナウイルス感染症に関するところのケア相談窓口のご案内

相談先

- 三重県こころの健康センター
- こころの結核テレフォン(話しを「聴く」ことに重点をおいた結核相談)

心の健康も大事よね♡

桑名市北部東地域包括支援センター圏域 健康瓦版 令和2年9月号

9月の『健康』お得情報

★今月のトピックス! 今月の担当はこの人!

9月もまだまだ暑い日が続きます!!
熱中症予防行動のポイントをお伝えします!
できている項目にチェックしましょう。

適宜マスクを外しましょう!
□屋外で人と2m以上離れているとき

暑さを避けましょう!
□涼しい服装、日傘や帽子
□体調が悪いと感じたら、涼しい場所へ

エアコン使用中も
こまめに換気をしましょう!
□窓とドアなど2か所開ける
□扇風機や換気扇を併用する

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょう!
□1日当たり、1.2L(缶)を目安
→1時間ごとにコップ1杯
→いつも使っているコップが何かわか
計ってみましょう。
→入浴前後や起床後も水分補給
□汗をかいたときは髪分も忘れずに

桑名市北部東地域包括支援センター圏域 健康瓦版 令和2年11月号

11月の『健康』お得情報

★健康

ご存じでしたか?
今月は糖尿病予防月間です。糖尿病をはじめとした生活習慣病予防や「フレイル*」の予防のために、『年に1度の健康診断*』をお忘れなく!!

*1 フレイルとは年齢と共に心身の活力が低下した状態を言います
*2 特定健康診査(後市国民健康保険の方)・後期高齢者健康診査は、11月30日まで

桑名市北部東地域包括支援センター圏域 健康瓦版 令和2年11月号

流行前のワクチン接種でインフルエンザを予防しましょう

インフルエンザ予防接種は、接種を受けてから抵抗力がつくまでに2週間程度かかるため、早めに受けることをお勧めします。

1. 実施期間 令和2年10月1日(木)～令和3年1月31日(日)

2. 予防接種対象の方
市内に住居登録のある方で①または②に該当する方
① 65歳以上の方(接種当日に満65歳の誕生日を迎えていること)
② 60歳以上65歳未満の方で、
・心臓、腎臓又は呼吸器の機能に日常生活が制限される程度の障害を有する方
・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活が、ほとんど不可能な程度の障害を有する方
※ ご本人が接種を希望する場合は接種を行います。

3. 接種費用 無料(県内指定医療機関で接種した場合に限ります。)

10月1日 自己負担を支払い接種された方 11月1日 無料 1月31日

11月下旬以降、市から返金手続きの案内を送ります 窓口での支払いはありません

感染予防として

4. 持ち物:健康保険証
健康手帳(お持ちの方)

- ✓ 手洗い・うがいを行いましょ
- ✓ マスクを着用し
- ✓ 咳エチケットを守りましょ
- ✓ 部屋の換気に気をつけ
- ✓ 適度な湿度と温度を保ちましょ
- ✓ 栄養・睡眠を十分にとりましょ

桑名市北部東地域包括支援センター圏域 健康瓦版 令和2年10月号

10月の『健康』お得情報

★今月のトピックス!

運動するには、良い季節になってきましたね。
市内は40歳になると1年に0.5%ずつ減り、65歳からはぐっと減り始めます。
「がんばるか、緩がんばるか」で運動して下さいね。

★今月のトピックス!
桑名市役所 保健医療課 地域づくり推進課 長島・深谷・大和地区担当 理学療法士 鈴木一秀氏

流行前のワクチン接種でインフルエンザを予防しましょう

インフルエンザ予防接種は、接種を受けてから抵抗力がつくまでに2週間程度かかるため、早めに受けることをお勧めします。

1. 実施期間 令和2年10月1日(木)～令和3年1月31日(日)

2. 予防接種対象の方
市内に住居登録のある方で①または②に該当する方
① 65歳以上の方(接種当日に満65歳の誕生日を迎えていること)
② 60歳以上65歳未満の方で、
・心臓、腎臓又は呼吸器の機能に日常生活が制限される程度の障害を有する方
・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活が、ほとんど不可能な程度の障害を有する方
※ ご本人が接種を希望する場合は接種を行います。

桑名市北部東地域包括支援センター圏域 健康瓦版 令和2年12月号

12月の『健康』お得情報

★健康

新型コロナウイルスの感染が再び拡大していますね。地域でのサロン活動や交流事業を実施するにも不安が大きくなりますが、「正しく恐れる」ことが大切です。十分に感染対策(三密の回避、消毒・換気)及びリスク回避(下記参照)をして、「フレイル*」の予防のためにもできる範囲で地域活動に参加してくださいね。

*1 フレイルとは年齢と共に心身の活力が低下した状態を言います

感染リスクが高まる「5つの場面」

- 場面1 飲酒を伴う懇親会等
- 場面2 大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面3 マスクなしでの会話
- 場面4 狭い空間での共同生活
- 場面5 居場所の切り替わり

問い合わせ先
桑名市役所 保健医療課
電話 24-1182
FAX 24-3032

問い合わせ先
桑名市社会福祉協議会 長島支所 地域福祉係
電話 42-2110

新型コロナウイルス感染症対策分科会 令和2年10月28日発表

コロナ禍による新たな課題・取り組み

詐欺や悪徳商法、高齢者虐待が増加

給付金詐欺等の**啓発チラシ**の配布、
民生委員・運営推進会議などの場で**虐待防止の啓発**

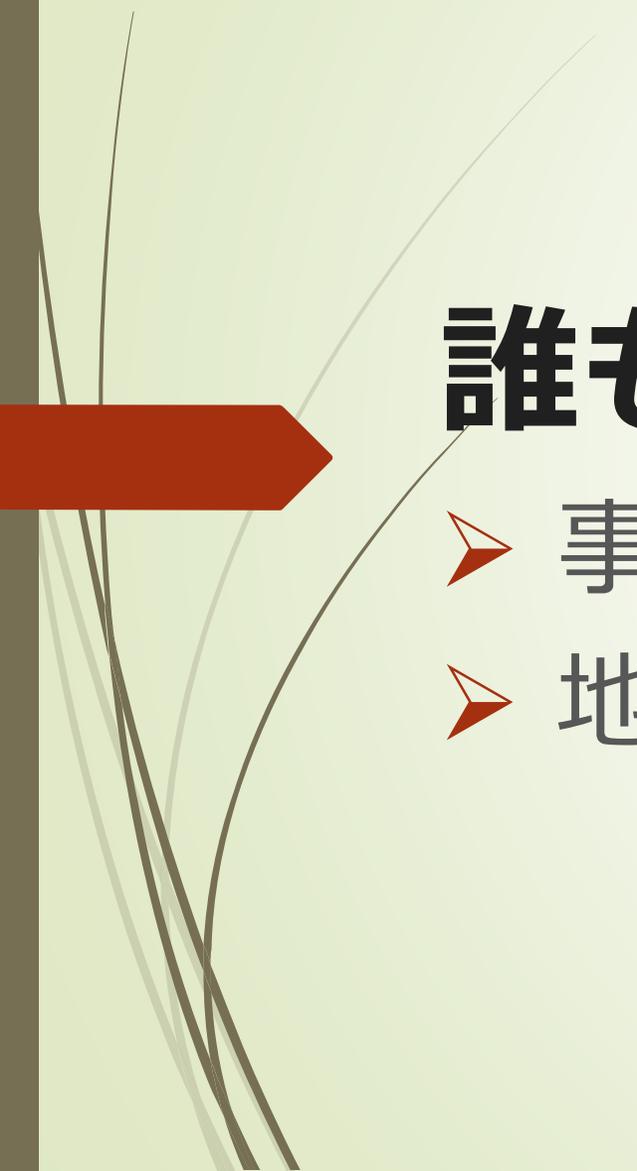
虚弱高齢者の増加による 介護サービス利用者の増加

早期に介入することで、早く元の生活に戻れるよう
包括だよりを各関係機関や医療機関に配布。
地域訪問などで、早期発見・対応につなげる。

新たな課題・感染予防の徹底

家族が帰省できず状況が把握しづらい→**関係機関と連携**
通いの場や研修などの開催困難→**WEB等新しい方法の検討**
私たちが媒介者にならないよう、面談頻度や方法の精査

包括内で
毎朝申し送り、
マニュアルや
産業医への確認
2週間に1度の
ミーティング
などで細やかに検討を
行っている



誰も取りこぼさない地域づくり

- 事例紹介
- 地域共生社会に向けて

令和2年8月から 長島福祉なんでも相談センターを開所

- 独居、高齢夫婦の増加
- 身寄りのない、または家族との縁が薄い高齢者
- 孤独死
- 認知症高齢者の増加

- 核家族化、育児の孤立化
- ヤングケアラー、介護離職
- 8050問題
- コロナ禍で、物理的に繋がりにくくなった

社会的孤立

高齢者だけの問題じゃないんだよね・・・



- なんでも相談と連携、幅広い視点で支援
- 共通課題として、社会的孤立への取り組みが重要

「複合的な課題を抱えた家族」事例

【家族構成】

母（80代） 長男・長女（50代）三人暮らし

【経緯】

母が食欲不振と嘔吐で救急搬送され、病院から「吐物や汚物で汚れており、子供たちによる**介護放棄ではないか**」と包括に連絡がある。

面談では、長男・長女ともに障害手帳はないものの、**SOSが出しにくい家族**という印象

- 病院、行政（介護高齢課・介護予防支援室）、民生委員、社協と、連携・情報収集

【長男・長女と関わりを持つ中で】

- ・介護放棄というよりは、**知識のなさにより介護できなかった**といった状態。
- ・長男・長女は母の支援に非常に**協力的な様子**はある。
- ・要介護認定申請や、金融機関と連携して長男が金銭管理の代行をできるように支援し、退院できた。

長女：半年以上前に通勤途中の受傷、現在も杖歩行で休職中。
傷病手当を受給中。「復職できるか不安・・・」

包括と長島福祉なんでも相談センターで、
就労や生活の安定に向けて、**継続して支援する方針**

【結果】ワンストップ窓口としての機能を果たす
相談初期から“福祉なんでも相談”との密な連携が図れた

誰も取りこぼさない地域づくり

短期目標（今年度）

- ・多職種、他機関と共同しながら介護予防の推進、地域づくり（フレイルへの対応）
- ・地域課題へのさらなる取り組み、発展へ

長期目標（第7～8期）

- ・感染症の状況に応じて柔軟に対応ができる事業所へ
- ・防災に強い地域づくり（介護事業所、地域等との連携）
- ・共生社会に向けて、より他機関との連携を深め、高齢期だけでなく、多世代のワンストップ窓口を目指す
（社協・福祉なんでも相談センターの強みをさらに生かしていく）

どの世代の人でも、すこやかに暮らせる地域づくりのために、これからも地域の方々や、多くの関係機関の皆様と、一歩ずつ進んでいきます

おひとりおひとりの相談に丁寧に取り組みながら、
個や地域のカ（エンパワメント）を引き出し、
かけはしとなる支援を目指して！



家族

ご近所

民生委員

自治会

まち協

病院・薬局

本人

桑名市北部東地域包括支援センター

金融機関

生活支援
コーディネーター

通いの場

長島福祉なんでも相談センター

商店、民間企業

ボランティア

市役所

サポーター

ケアマネ

事業所

など・・・



ご清聴ありがとうございました！

